

## Nico と Nico の両親と感動の 7 日間

鈴木 里歩（中学 2 年）

帰国した次の日の朝に私はレポートを書いています、今でもグアムでの 1 週間の出来事が忘れられず心に残っています。この感動を次の派遣を希望する人達に少しでも伝えることができれば嬉しいです。

グアムの空港に着いて、私のカウンターパートやその家族とハグをした時、緊張や不安な気持ちが全てなくなり、感動が溢れていました。グアムの空港からキラキラした街や海を見た瞬間に、この限られた 7 日間を大切にしよう、どんなことがあっても前向きに行動しようと思えました。

私のカウンターパートは、Jaylene です。毎日充実していましたが、特にホストファミリーと打ち解けられたと感じたのは free day でした。いつも優しく迎えてくれて、沢山の場所に連れて行ってくれました。初めて見たところが多く、一つ一つの場面がとても新鮮でした。そして、最後の日の夜は Jaylene や家族と遅くまで、今までにない新しい話もできて忘れられない時間となりました。

グアムではカウンターパートの学校を訪問しました。グアム生達は、緊張していた私達派遣生を温かく歓迎してくれて、安心して楽しく過ごすことができました。そして、グアムに滞在中、英語を通して気持ちが通じ合った時は、本当に嬉しかったです。あっという間に帰国の日がやってきましたが、最初の時の不安な気持ちは嘘のように、まだ帰りたくない、ずっとここにいたい、という思いに変わりました。最後の最後までホストファミリー、グアム生みんなと大切な時間を過ごすことができました。

今回のホームステイで、笑顔はとても大切だと改めて思いました。常に、今、この時を大切に考えて過ごすことができました。私は、英語が得意ではなかったですが、グアムの人と 1 週間過ごすことができました。コミュニケーションをとるのに、言葉だけではなく、置かれた環境や相手の表情やジェスチャーも必要だと気づきました。けれども、もっと心を通じ合うには英語力が必要だとも思います。たくさん英語を勉強して、さらに様々な国の人と関わりたいです。この貴重で幸せな機会をくださった方々に感謝しています。この思いをバネに、これからの毎日も頑張っていきます。



チャモロヴィレッジで HF と